

<報道発表資料>
(教育同時)

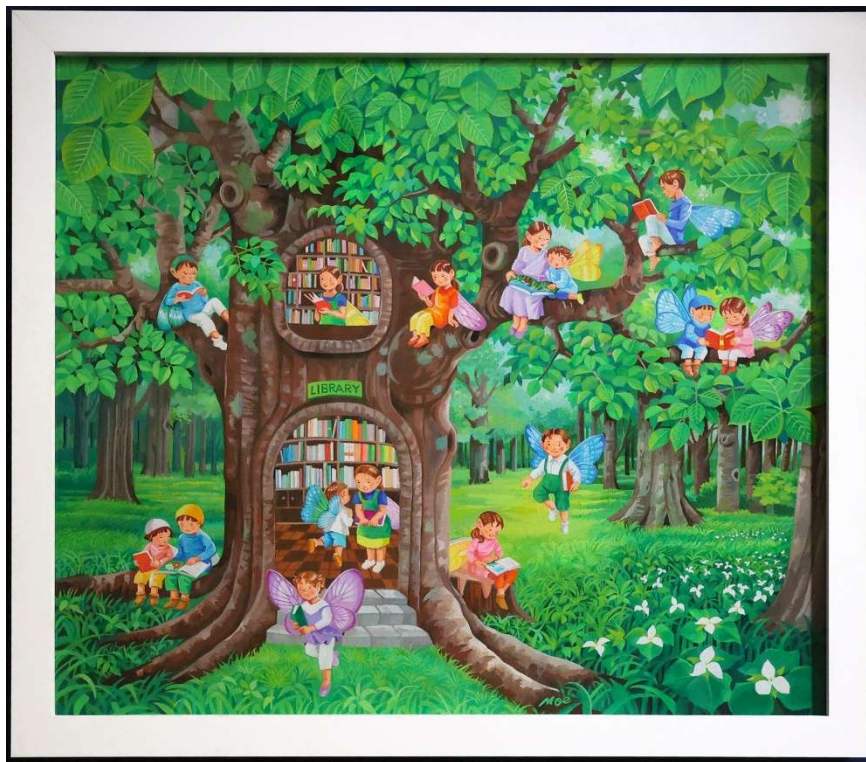
令和8年9月16日

京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子育て支援総合センターこどもみらい館
京都市教育委員会事務局生涯学習部施設運営担当

こどもみらい館子育て図書館における絵画「森の図書館」の常設展示

～感性を育む文化的空間づくり～

こどもみらい館では、令和8年9月25日（金）から、館長の永田萌氏が描き下ろした絵画「森の図書館」を、子育て図書館にて常設展示する。



【背景と目的】

子育て図書館は、親子をはじめ、子育てに関わる方々や保育・教育を学ぶ学生など、多様な利用者が本や情報に触れながら、ゆったりとした時間を過ごすことのできる場として、日々多くの方々に親しまれています。

この度公開する「森の図書館」は、「子ども図書館の理想を表現した作品」であり、図書館空間の中で、子どもたちが自由に想像を広げ、自ら感じ、考える機会の充実を図っていきます。

また、作品に触れることで、子育て世帯をはじめとする利用者にとっても、新たな発見や対話が生まれる空間となることを期待しています。

今後とも、読書活動の推進に留まらず、日常的に芸術文化に触れられる環境を整備することで、次世代を担う子どもの豊かな育成を支援するとともに、子育てに関わる多様な人々が安心して集い、交流できる「居場所」の創出を推進していきます。

【概 要】

- 公開日時 令和8年9月25日（金）から常設展示
- 公開場所 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館 3階「子育て図書館」内
（〒604-0883 京都府京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1）
- 作 品 永田 萌（こどもみらい館長）作 「森の図書館」（アクリル画）
- 注意事項 作品単独の撮影はご遠慮いただいています。
撮影をされる場合は、作品と併せて当事者も映してください。

【永田萌氏・プロフィール】

出版社などでグラフィックデザインの仕事に携わった後、1975年にイラストレーターとして独立。

豊かで美しい色彩から生み出される独特の「花と妖精」の世界は、国内外を問わず広く親しまれている。

画集やエッセイなど、これまでに約 180 冊余を出版。

一方、広告媒体や企業商品等の商業アートに加え、公共機関に設置される陶板画や舞台ホールの緞帳など、作品の展開は幅広い。2016年からこどもみらい館館長に就任。



<お問合せ先>

京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子育て支援総合センターこどもみらい館

電話：075-254-5001